OB-22 取付・取扱説明書

OBD2ハーネス2分岐

この度はOB-22 OBD2分岐ハーネスをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みいただき、正しい取扱い方法でご使用いただきますようお願いします。
この取扱説明書は大切に保管してください。

Ver. 05142014

製造元　株式会社キラメック
〒475-0936　愛知県半田市板山町9丁目183番地1
お問い合わせ先 ： 0120-504-980（土、日、祝祭日、当社休業日を除く AM10:00 ~ 12:00・PM10:00 ~ 4:00）

使用上の注意

ご使用の前に下記の注意事項を必ずお読みください。

⚠ 危険

下記の状態や場所での使用は避けてください。事故・火災等の危険性があります。

本製品の設置・固定は、車両の機器や他の機器と干渉する場所やそれら機器に影響を及ぼすような場所には行わないでください。特に可動部やカバー等に挟み込まれたり、車両の機器の性能を損なうような取り付けを行うと、本製品の故障・損傷のみならず車両の故障や人体にも危険が及ぶ可能性がありますので絶対にやめてください。

⚠ 警告

取り扱いを誤った場合、人体に影響を及ぼす可能性があります。

- ■本製品はDIGI-LINK機器設置専用です。それ以外の目的での使用は本製品や車両の故障・損傷のみならず人体にも危険が及ぶ可能性がありますので絶対にやめてください。
- ■本製品を改造すると、本製品や車両の故障・損傷のみならず人体にも危険が及ぶ可能性がありますので絶対にやめてください。
- ■本製品の取り付けは、本書に従って行ってください。正しい手順が守れなかった場合、本製品や車両の故障及び事故の原因のみならず人体にも危険が及ぶ可能性があります。
- ■本製品は防水・防滴仕様ではありません。水分・油分などが浸入すると、車両又は本製品の故障・破損のみならず人体にも危険が及ぶ可能性がありますので水分・油分が浸入する可能性がある場所への設置は絶対にやめてください。

⚠ 注意

下記の項目には十分注意してください。車の故障又は本製品または接続された製品の機能面に支障を起こす可能性があります。

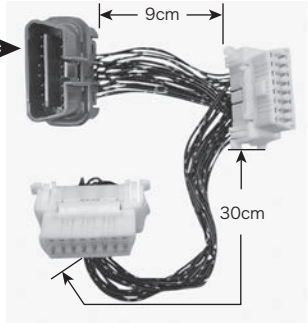
- ■本製品は日本国内でのみ使用できます。海外では使用しないでください。
- ■本製品の間違った接続や設置による事故等の責任は一切負いません。
- ■本製品の仕様、デザインは改良のため予告無く変更する場合があります。
- ■電源容量にご注意ください。OBD2カプラ（データリンクカプラ）の電源（+12V、アース）の容量は限られています。

⚠ その他注意

- ■本製品を使用してDIGI-LINK製品（VISIONおよびSCIBORGセキュリティシステム全般CAN-BUSアダプタ、TSL20、SL25等）を車両へ取り付けしている場合、ドライブレコーダーやレーダー探知機などの比較的消費電流の大きな機器の電源は、本製品には絶対に接続しないでください。
- ■本製品（OB-22)で使用しているカプラは一部車両においてサイズまたは形状が合わず純正装着位置の内装パネル等に干渉し、固定できない場合があります。
- ■DIGI-LINK製品と他社のOBD2カプラーを利用した製品を併用した場合双方の一部またはすべての機能が正常に動作しない場合があります。

製品概要および取付手順

純正OBD(データリンク)カプラ
接続用カプラ(茶褐色)

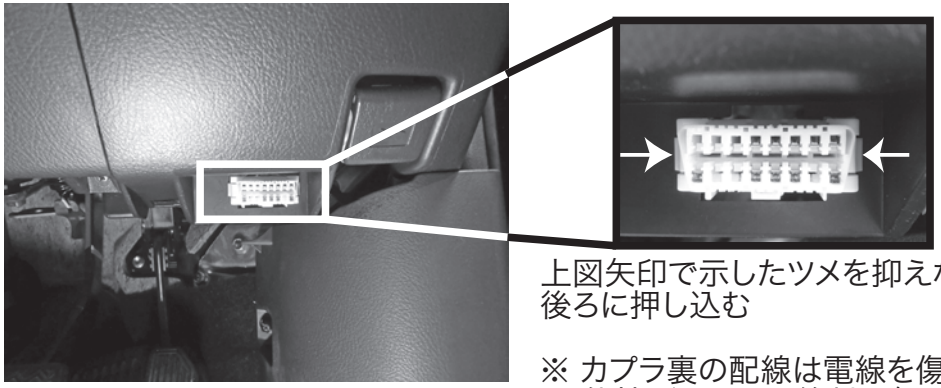


注意！
当製品(OB-22)で使用しているOBDⅡカプラは一部装着車両においてサイズが合わず純正装着位置の内装パネル等に干渉し固定できない場合があります。

ポイント1:
OBD(データリンク)カプラの16ピンすべてを3つに分岐しています。
このためどのカプラでも車両診断機を接続したり、Digi-Link機器を接続することができます。

ポイント2:
カプラ間のハーネス長がそれぞれ違うため車両毎に取り回しが楽なカプラを選んで純正位置に設置することが可能です。

1. 車両純正のOBDカプラを外す

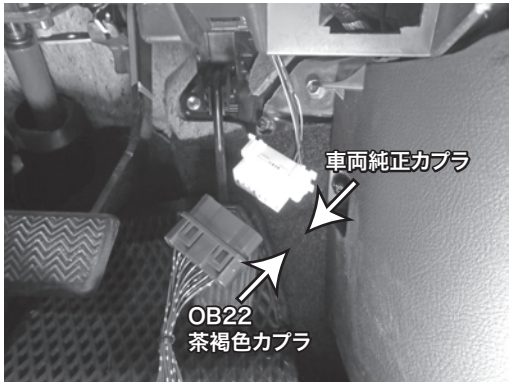


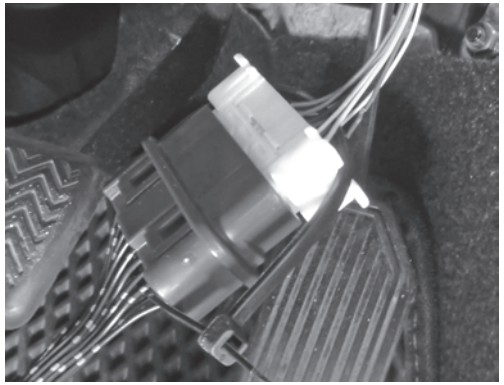
※ 車両によりOBDカプラの固定方式が異なる場合があります。

上図矢印で示したツメを抑えながら後ろに押し込む

※ カプラ裏の配線は電線を傷める可能性があるので絶対に無理に引っ張らないでください。

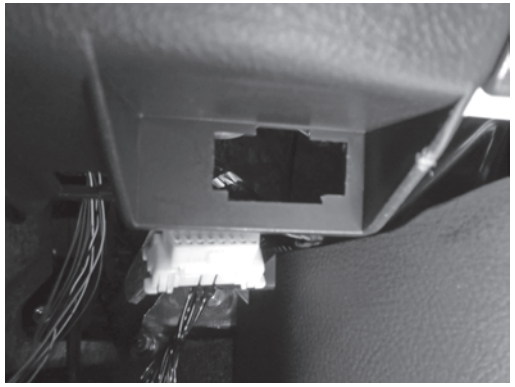
2. OB-22を手順1で外した車両カプラに接続する





カプラを接続したら付属結束バンドでしっかりと固定する(上図参照)

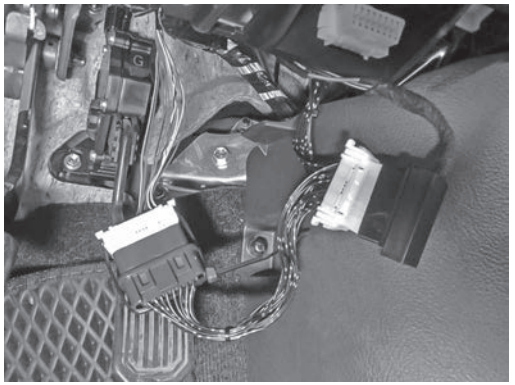
3. OB-22のコネクタを純正コネクタ位置に設置



2つのOBDカプラのうち一つを純正カプラが設置されていた場所に戻します。

上図は赤色のカプラから一番離れたカプラを純正位置に設置した例

4. 機器を接続



残り1つのカプラに取り付けたい機器のカプラを接続します。

5. 収納

ハーネスを車両の機器と干渉しない場所に収納し、しっかりと固定します。
上図はキックパネル内に収納した例

⚠ 注意事項 ⚠

※ 本製品を使用してDIGI-LINK製品(VISIONおよびSCIBORGセキュリティシステム全般CAN-BUSアダプタ、TSL20、SL25等)を車両へ取り付けしている場合、ドライブレコーダーやレーダー探知機などの比較的消費電流の大きな機器の電源は、本製品には絶対に接続しないでください。

※ 他社製品の電源を分けて取り付ける事が困難な場合は、DIGI-LINKI機器の電源をOBD以外の安定した電源へ単独配線してください。

※ 消費電流が大きな製品を接続した場合、接続された製品の不安定動作、故障を起こす原因となります。